



大阪油化工業株式会社

2025年9月期 決算説明資料



東証スタンダード
証券コード:4124

2025年11月14日

1

2025年 9 月期決算概要

P.03

2

2026年 9 月期業績予想

P.10



1. 2025年9月期決算概要

連結

売上高

1,184百万円

前期比20.0%増

営業利益

139百万円

前期比642.1%増

- ◆ 売上高について、
 - ・ 受託蒸留事業において、一部の主要顧客との取引縮小による影響は残るものの、半導体・電子材料向けの需要の回復もあり増収。
 - ・ プラント事業において、引き合いは好調も案件長期化による後ろずれにより減収。以上の結果、全体では前期比20.0%の増収。
- ◆ 営業利益について、増収に伴い、前期比642.1%の増益。
- ◆ 期初予想（売上高1,050百万円、営業利益70百万円）に対しては上振れで着地。

受託蒸留事業

売上高

1,105百万円

前期比26.4%増

プラント事業

売上高

79百万円

前期比29.8%減

※ 各セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高実績に関する内訳は、
 - ・ 研究開発支援 売上高322百万円（24/9期実績：235百万円）
（資源・エネルギー関連の案件増加により増収）
 - ・ 受託加工 売上高782百万円（24/9期実績：639百万円）
（半導体・電子材料向けの需要の回復により増収）となったため、事業全体では前期比26.4%の増収。
- ◆ プラント事業について、蒸留装置・排水処理装置に関する引き合いは好調も、案件の長期化による後ろずれの影響により、前期比29.8%の減収。

- ◆ 売上高に関して、前ページに記載のとおりです。
- ◆ 売上原価に関して、大きな変動なし。
- ◆ 販管費に関して、監査報酬の増額による影響等もあり、増加。
- ◆ 株式会社ダイセキによる公開買付けに伴う関連費用等を特別損失として計上。

(単位：百万円)	2024年9月期	構成比 (%)	2025年9月期	構成比 (%)	増減率(%)
売上高	987	100.0	1,184	100.0	20.0
売上原価	580	58.9	613	51.8	5.6
売上総利益	406	41.1	570	48.2	40.5
販売費及び一般管理費	387	39.2	431	36.5	11.4
営業利益	18	1.9	139	11.7	642.1
経常利益	19	2.0	138	11.7	615.4
特別損失	—	—	122	10.4	—
親会社株主に帰属する当期純利益 又は当期純損失(△)	0	0.0	△32	—	—
1株当たり当期純利益又は当期純損失(△)(円)	0.06	—	△30.77	—	—

◆ 資産増減内訳

： 現預金 + 110、受取手形、売掛金及び契約資産 △ 73、原材料及び貯蔵品 △ 67
建設仮勘定 △ 26、繰延税金資産 △ 24

◆ 負債増減内訳

： 未払金 + 42、未払消費税等 + 26、預り金 + 7、未払費用 + 7、買掛金 △ 81

(単位：百万円)	2024年9月期	2025年9月期	増減
流動資産	1,126	1,110	△ 15
固定資産	802	751	△ 50
資産合計	1,929	1,862	△ 66
流動負債	206	208	2
固定負債	7	7	0
負債合計	213	215	2
純資産合計	1,716	1,647	△ 68
負債純資産合計	1,929	1,862	△ 66
自己資本比率	88.9%	88.4%	△ 0.5pt.

(単位：百万円)	2024年9月期	2025年9月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	51	206	154
税金等調整前当期純利益	19	15	△3
減価償却費	90	85	△5
減損損失	—	8	8
売上債権の増減額（△は増加）	△91	60	151
棚卸資産の増減額（△は増加）	△65	60	126
仕入債務の増減額（△は減少）	72	△81	△153
その他（未払金・未払消費税等ほか）	11	86	75
法人税等の支払額	△5	△29	△23
法人税等の還付額	20	0	△20
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67	△59	7
有形固定資産の取得による支出	△59	△57	2
その他	△7	△2	5
フリーキャッシュ・フロー	△15	147	162
財務活動によるキャッシュ・フロー	△36	△36	△0
自己株式の取得による支出	—	△0	△0
配当金の支払額	△36	△36	△0
現金及び現金同等物の期末残高	762	872	110

- ◆ お問い合わせ件数・新規受注件数ともに、前年実績を下回ったものの、成約率は大きく上昇。
- ◆ ファインケミカル、資源・エネルギー、リサイクル関連その他多様な分野からの引き合いが継続。
- ◆ 前期は1社から小規模の複数案件の引き合いをいただくケースが多く、今期は1社1案件で中規模の案件の引き合いをいただくケースが目立った。
- ◆ お問い合わせから新規受注に至った成約率は約55%。（前期約45%）

（単位：件）	2023/9期	2024/9期	2025/9期
お問い合わせ件数	96	105	82
新規受注件数	45	48	45



2. 2026年9月期業績予想

連結

売上高	1,240百万円	営業利益	140百万円
	前期比4.7%増		前期比0.7%増

- ◆ 売上高について、
 - ・受託蒸留事業において、資源・エネルギー関連への対応を強化するとともに、高純度化やアップサイクル（高品質・高価値再生）を通じて付加価値を高め、さらなる取引の拡大を図る。
 - ・プラント事業において、分離精製のノウハウを活用した自社オリジナル装置の案件獲得に注力する。以上の結果、前期比4.7%の増収を見込む。
- ◆ 営業利益について、プラント事業に拡大に伴い、売上高全体に占めるプラント事業の割合が大きくなることで相対的に利益率の低下が見込まれるため、前期比0.7%の微増益に留まる見通し。

受託蒸留事業

売上高

1,040百万円
前期比5.9%減

プラント事業

売上高

200百万円
前期比152.9%増

※ 各セグメントの売上高予想には、セグメント間の内部売上高または振替高を含んでおりません。

- ◆ 受託蒸留事業の売上高予想に関する内訳は、
 - ・ 研究開発支援 売上高400百万円（25/9期実績：322百万円）
 - ・ 受託加工 売上高640百万円（25/9期実績：782百万円）受託加工について、前倒し需要の反動減による影響を踏まえ、減収を見込む。
- ◆ プラント事業について、蒸留装置及び排水処理装置の新規受注が増加しており、大幅な増収を見込む。

【配当政策】

当社は、将来の事業展開と経営体質の強化のために必要な内部留保を確保しつつ、株主各位に対する適切な利益還元を実施していくことを基本方針としております。

	2024年9月期	2025年9月期	2026年9月期 (予想)
1株当たり配当金	35.0円	36.0円	37.0円
配当性向	58,021.9%	—	40.6%

- ◆ 2025年9月期における配当については、1株当たり36円といたしました。
- ◆ 2026年9月期における配当についても、1株当たり37円を見込んでおります。
- ◆ なお、配当につきましては、原則として配当性向30%以上、かつ1株あたり35円を下限とし、今後も安定的な配当を実施していく方針です。



技術と経験を武器にプロジェクトを完遂する、
精密蒸留専門化学メーカー



＜お問い合わせ先＞

大阪油化工業 業務部

（IRお問い合わせフォーム）

<https://www.osaka-yuka.co.jp/contact/ir-form/>

＜本資料取扱上の注意点＞

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点における情報に基づき判断したものであり、マクロ環境や当社の関連する業界動向等により変動する可能性があります。従いまして、実際の業績等が、本資料に記載している将来の見通しに関する記述と異なるリスクや不確実性がありますことをご了承ください。

また、本資料は当社をご理解いただくために作成したもので、当社への投資勧誘を目的としておりません。投資に関する決定はご自身のご判断において行われるようお願いいたします。